

MIYUKI
MORIMOTO
exhibition



森本美由紀展

伝説の
ファッション・
イラストレーター



開館時間=10:00~17:00(最終入館16:30)

休館日=月曜日 ★ただし5月1日(月)開館

入館料=一般1,000円/大・高生900円/中・小生500円

★竹久夢二美術館と2館併せてご覧いただけます。

特別協力=森本美由紀 作品保存会/岡山県立美術館

伝説のファッション・イラストレーター森本美由紀展

2023年4月~6月

プレスリリース

YAYOI
MUSEUM



MIYUKI
MORIMOTO
exhibition

墨で一気に描き上げたスタイル画——森本美由紀の真骨頂です。森本(1959-2013)の没後10年がたちますが、無駄のないシンプルな線で、女の子のなりたいイメージを具現化し洗練させたファッション・イラストレーションは、他の追随を許しません。デジタルでイラストを描くことが主流になった今、森本の、墨と筆を用いた一発勝負のアートワークが注目を集めています。

また、セツ・モードセミナーで学んだ画学生時代から、伝説の少女雑誌『Olive』『mc Sister』で腕を磨いた80年代、90年代渋谷系サウンドとの競演など、“森本ワールド”に至るまでの軌跡をご紹介します。



4.1 2023 SAT

6.25 SUN



弥生美術館

■ごあいさつ■

墨で一気に描き上げたスタイル画 ― これが森本美由紀の真骨頂です。

森本（1959-2013）の没後10年がたちますが、無駄のないシンプルな線で、女の子のなりたいイメージを具現化し洗練させたファッション・イラストレーションは、他の追随を許しません。

デジタルでイラストを描くことが主流になった今、森本の、筆と墨を用いた一発勝負のアートワークが注目を集めています。

また、長沢節が主宰する「セツ・モードセミナー」で学んだ画学生時代から、伝説の少女雑誌『Olive』『mc Sister』で腕を磨いた'80年代、'90年代渋谷系サウンドとの競演など、“森本ワールド”に至るまでの作家の軌跡もご紹介いたします。

没後10年…

モードな感覚を墨で描いた森本のファッション・イラストレーションは
いまだ超えられぬ、ひとつの頂き。



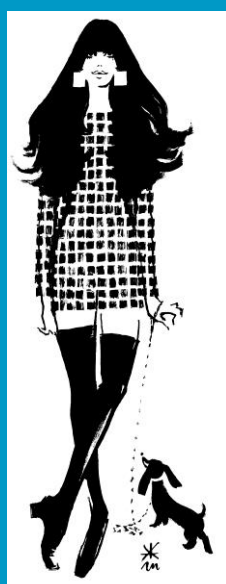
図版1

墨によるアートワーク
2000年代



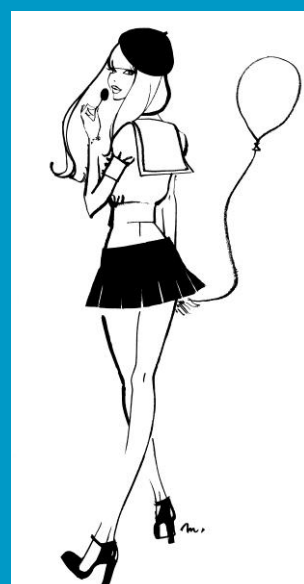
図版2

墨によるアートワーク
1990年代



図版3

墨によるアートワーク
2000年



図版4

墨によるアートワーク
2000年代

●森本美由紀●(1959-2013) イラストレーター

岡山県津山市出身。地元の高校を卒業後、上京。

1979年にセツ・モードセミナー入学。日本のファッション・イラストレーターの草分け的存在である長沢節（ながさわ・せつ）のもとで学ぶ。

在学中にフリーランスのイラストレーターとしてデビュー。

1980年代は『Olive』『an・an』（ともにマガジンハウス）、『mc Sister』（現・ハースト婦人画報社）などにイラストを描き、若い女性の感性を生かしたおしゃれな画風で人気を博す。

1990年代には画風を変え、1950～60年代の『VOGUE』のスタイル画家のイラストに影響を受けた〈筆と墨を使ったドローイングスタイル〉を完成させる。スタイリッシュな作品は他分野のクリエイターの感性を刺激。ピチカート・ファイヴをはじめとする“渋谷系”音楽のCDにも数多く作品が起用された。

2000年代は松屋ギンザなどの広告、ユニクロやマークス（ステーションリー・雑貨メーカー）などの商品展開も盛んに手がけ、仕事の幅を広げた。

また、『コスモポリタン』など海外の雑誌でも活躍した。

作品にはクレジット ©Miyuki Morimoto／森本美由紀 作品保存会 をお願いします。



図版5

ピチカート・ファイヴのCD
のための習作 1997年

私の考えるファッション・イラストレーションは、女の子が服を着ておしゃれをしている絵を描くことで、
女の子のなりたいイメージを具現化したもの。服そのものを見せる絵ではありません。

描きたい世界を**無駄のないシンプルな線**で表現するスタイルを追求しながら、

さらに**リファインされた普遍的な絵**を目指してきました。

(『森本美由紀 ファッションイラストレーションの描き方』より)



図版6

墨×カラーによるアートワーク
2000年代



図版7

ファッションブランド
「スプンティーノ」のための作品
2005年



図版8

ファッションブランド
「スプンティーノ」のための作品
2004年

確かなデッサン力が支えた 〈引き算の美学〉

シンプル、けれど深い…
見る人の感性を揺さぶる
豊潤な筆致。

確かなデッサン力があってこそ
描ける作品群。

図版9 デッサンと墨によるアートワーク 2000年



図版10

墨によるアートワーク
1990年代

モノクロームだからこそキマる、アートディレクション



図版11 『groovy book review』表紙 1999年



図版12 『コスモポリタン』フランス版
によせたイラスト 2006年

展示のみどころ

★原画の総点数 193 点！資料多数！

★カラー作品は入れ替え
前期：4/1～5/14
後期 5/16～6/25

★新資料初公開！
津山アトリエから発見された資料。作家の心の軌跡が窺えます。

★写真撮影 OK

★'80 年代のカラフルな作品から筆と墨を使ったドローイングへ移行する過程を原画でたどります。

■森本美由紀のあゆみ■

岡山県津山市生まれ

1979年にセツ・モードセミナー入学。長沢節に師事する。在学中にデビュー。以後、フリーランスのイラストレーターとして、エディトリアル、広告を中心に幅広く活躍した。

2013年10月、肝臓がんにより逝去。享年54。

2014年10月、友人たちの尽力により、東京・神宮前の「ペーターズ・ショップ&ギャラリー」にて「森本美由紀回顧展」開催。友人有志により「森本美由紀 作品保存会」が結成され、以後、同会が著作権窓口となる。

2015年7月～9月、東京・弥生美術館にて第一回目の「森本美由紀展」開催。

2016年2月～3月、岡山県立美術館にて「森本美由紀展」開催。（以後、原画は同館寄託作品となる）

作品集に『système de la MODE』『The Look of Love』（ともにブルース・インターアクションズ／2000年）

著書に『森本美由紀ファッションイラストレーションの描き方』（誠文堂新光社／2010年）、関連書籍に『森本美由紀』（弥生美術館・内田静枝編／河出書房新社／2015年）、『タマちゃん the Onion もうひとりの森本美由紀』（森本美由紀 作品保存会編／河出書房新社／2015年）など。



図版13 作家ポートレート



展覧会フライヤー

■開催要項■

展覧会名称	伝説のファッション・イラストレーター 森本美由紀展
会期	2023年4月1日（土）～6月25日（日）
休館日	毎週月曜 *5月1日（月）開館
開館時間	10:00～17:00（入館は16:30まで） *新型コロナウイルスの影響により、会期・休館日・開館時間に変更になる可能性があります。 最新情報は美術館HPでご確認ください。
会場	弥生美術館 1階～2階
同時開催	弥生美術館3階会場 高島華宵展 竹久夢二美術館 竹久夢二 描き文字のデザイン 一大正ロマンのハンドレタリング
入館料	一般 1000円 大高生 900円 中小生 500円 *竹久夢二美術館と併せての料金。
住所	弥生美術館 〒113-0032 文京区弥生2-4-3 TEL: 03(3812)0012 FAX: 03(3812)0699
交通	東京メトロ千代田線〈根津駅〉1番出口／南北線〈東大前駅〉1番出口よりいずれも徒歩7分 JR上野駅 公園口より 徒歩20分
HPアドレス	https://www.yayoi-yumeji.museum.jp
特別協力	森本美由紀 作品保存会・岡山県立美術館

■お知らせ■

★全館写真撮影OK!★

森本美由紀展期間中は
弥生美術館3F「高島華宵展」
竹久夢二美術館も
写真撮影OKとなります。



Good timing!
ロングセラーの名著大增刷！
2023年2月予定

「森本美由紀 ファッションイラストレーションの描き方」
（誠文堂新光社）

この展覧会についてのお問い合わせは

弥生美術館 学芸員 内田静枝 までお願いします。 TEL: 03-3812-0012 FAX: 03-3812-0699

FAX 03-3812-0699

弥生美術館 内田行

伝説のファッション・イラストレーター「森本美由紀展」

画像使用申込書



画像送付日 月 日 必着

掲載誌（紙）／放送予定番組名	
発売／放送予定日	
会社名・所属／ご担当者名	
ご住所 〒	
E-mail	
TEL	FAX
通信欄	

■図版番号 ご希望の図版を ○印で囲んでください。（図版番号はプレスリリース参照）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 フライヤー

*デジタルデータの二次利用は禁止です。ご利用後は破棄していただきたくお願い申し上げます。

プレスリリース掲載の図版について、メールで画像データをお送りします。
ご希望の場合はこの申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお送りください。
弥生美術館写真（外観／展示室）等、他に必要とする資料がございましたらご連絡ください。

著作権は「森本美由紀 作品保存会」が有しますが、本紙掲載画像を展覧会広報の用途で使用する
場合に限り、使用許可を得ています。

図版使用の際にはクレジットを必ず入れてください。©Miyuki Morimoto/森本美由紀 作品保存会

■読者プレゼント招待券（5組10名）

希望する 希望しない

■掲載誌（紙）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただいた際には、掲載誌（紙）をお送り下さいますようお願い申し上げます。

【送り先】〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-3 弥生美術館 担当 内田